

出席委員 大浦委員長 谷崎副委員長 吉森委員 高川委員 岩城委員 古沢委員

欠席委員 なし

説明のため出席した者 水野市長 柿沢副市長 上田教育長 落合会計管理者 石川総務部長 石川健康福祉部長 黒川産業民生部長 岩城建設部長 上田教育委員会事務局長 高倉総務課長 長崎財政課長

職務のため出席した事務局職員 石井局長 中田局長補佐

午前10時00分開会

大浦委員長 ただいまから、決算特別委員会を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第 1、付託案件の審査に入ります。

各会計決算の証拠書類審査を行います。

午前10時45分頃をめぐりして審査していただければと思います。その後、指摘事項の協議の委員間協議を行い、休憩後、午前11時45分から、討論、採決、審査講評に入ります。

以上です。

（ 証 拠 書 類 審 査 ）

大浦委員長 それでは、会議を再開させていただきます。

決算特別委員会へ審査が付託され、4 日間にわたり令和 5 年度の各会計決算のうち、審査を行ってきましたが、おおむね審査が終了いたしました。

これより討論に入ります。

討論をご希望される委員の方はお申し出願います。

（討論する者なし）

大浦委員長 申出がないので討論を終結し、これをもって審査を終了したいと思います。

なお、審査に当たり、個々に指摘した事項及び全庁的に取り組む事項については、今

後なお一層の検討を要望する旨として、別紙「今後改善を求める事項」を付することといたします。

それでは、これより挙手により採決を行います。

議案第62号から議案第70号の9議案を一括して採決を行います。

議案第62号 令和5年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について

議案第63号 令和5年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

議案第64号 令和5年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

議案第65号 令和5年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

議案第66号 令和5年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について

議案第67号 令和5年度滑川市水道事業会計決算認定について

議案第68号 令和5年度滑川市下水道事業会計決算認定について

議案第69号 令和5年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第70号 令和5年度滑川市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

認定または可決すべきものと決することに賛成委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

大浦委員長 挙手全員。よって、認定または可決すべきものと決しました。

午前11時46分採決

大浦委員長 これをもって決算特別委員会を閉会いたします。

なお、引き続き審査講評を行います。

午前11時46分閉会

令和 6 年滑川市議会・決算特別委員会（審査講評）

令和 6 年 9 月 24 日

午前11時46分

大会議室

石井事務局長 それでは、ただいまから、令和 6 年 9 月市議会定例会において、決算特別委員会に付託されました 9 議案について、委員会から市長へ講評を行います。

大浦委員長からお願いします。

大浦委員長 令和 6 年 9 月市議会定例会において、決算特別委員会へ審査を付託され、9 月 17 日、18 日、19 日及び本日 24 日の 4 日間にわたり、令和 5 年度の各会計決算審査などを行いました。

本日、これをもって審査を終了し、付託された案件、議案第 62 号 令和 5 年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定についてから議案第 70 号 令和 5 年度滑川市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてまでの 9 議案については、先ほど賛成全員で認定または可決すべきものと決しました。

なお、審査に当たり個々に指摘した事項及び全庁的に取り組む事項については、今後なお一層の検討を要望する旨として、別紙「今後改善を求める事項」を付することとし、朗読にて説明いたします。

決算特別委員会における今後改善を求める事項

市の各事業、各課の取り組みについて、それぞれ実施・継続されていることに対し、敬意を表するとともに、今後においても期待するところであります。

決算特別委員会における様々な意見等の中から、市政のさらなる発展を願い、市議会として以下の点について改善を求める事項として提言をします。

- 1 自主財源の一層の確保や歳出削減などにより、徹底した行政改革を行うとともに、限られた財源を有効活用するため、コスト意識を高め、事業評価と検証を十分に行い、公平公正で最大の効果を伴うよう努められたい。さらに、行政事務については業務の効率化のため、民間委託も検討されたい。
- 2 時代の変化とそれに伴う様々な住民ニーズに対応するため、全国一律・画一的な旧来型の取扱いや規制等の中で、本市の経営に支障をきたすものや地域の実情にそぐわ

ないものなどについては、既存の制度にとらわれず、新たに必要となる制度等について常に精査し、住民サービスの質を下げることのないよう、制度提案や政策提案を含めて国・県に対して要望に努められたい。

以上２点です。どうぞよろしくお願いいたします。

石井事務局長 それでは、市長から挨拶をお願いします。

水野市長 おはようございます。

決算特別委員会、９月１７日から今日までの４日間、本当にお疲れさまでした。

そして、今ほど９議案、認定または可決という形でお許しをいただいたことに改めて感謝申し上げたいというふうに思います。

今、「改善を求める事項」が２つあったわけなんですけども、１つ目の自主財源の一層の確保や歳出削減、いわゆるスクラップ・アンド・ビルド、これに関しては今後一層、それぞれの課において、今何が必要なのか、これから何がもっとも必要になってくるのか、そのあたりをそれぞれ部長を中心として、担当課のそれぞれの事業に関してスクラップ・アンド・ビルドを実施してまいりたい、そのことは約束したいというふうに思っています。

あとは、民間委託も検討されたい、これは４月から公民連携課もつくった中で、それぞれ今の時代に合った形での民間の力を取り入れながら、これも一層進めていくように段取りをしていきたいというふうに思っています。

あとは、２番目の既存の制度にとらわれず、これはおっしゃるとおりであると思いますので、そのあたりを含めた旧態依然としたそういった制度、そのあたりのもの、時代のスピードに合った形で、一步ずつ前へ進んでいければなというふうには考えておりますので、また議員の皆様方のご協力のほうもよろしくお願いいたしますと思います。

それと、今、この３連休中というか、能登半島、大雨でああいった形になってしまいました。これに関しては、本当に一つ間違えば、間違えばというか、ちょっとずれていれば、こちらのほうにも線状降水帯が来るか来ないか、これは紙一重だったと思うんですけども、今こういった状況の下、今朝、早速、石川県のほうから富山県の防災危機管理課に人的支援の要請も来て、滑川市にもその割当てが、まだ詳細は決まっていないんですけど、そういった連絡もあった中で、できることは、支援はしていきたいというふうに考えていますので、そのあたりの人的支援も含めてやっていかなければいけないのかなと。物的な支援も、いろんな各方面からまたいろいろ出てくると思います。

そういった支援をしながら、助けるところは助け合っという形で自治体間の連携も含めて、ここもやっていかなきゃいけないですし、今後、こういった安全・安心に対する考えも含めて様々な課題がこれからも出てくるとは思いますけれども、そういったことも一つ一つクリアにしながら、滑川市の未来に向けてやっていきたいとしますので、よろしくお願いします。

石井事務局長 ありがとうございました。

以上で審査報告、講評を終了いたします。

お疲れさまでした。

午前11時53分閉会